

## グループワークショップの結果

上新田公園はA案を選ぶ班が多く、続いてB案が多かったことから、**A案をベースに**、他の案の要望も踏まえながら計画を進めていきます。



その他の5公園は、おおむねゾーニング計画案通りでよいという結果になりました。

### 下新田公園

自転車を置ける広場が必要!

出入口を南側に移動したらどうか?

### 南吹田くるくる遊園・第2遊園

桜を増やしてほしい

出入口の安全対策が必要!

### 南清和園公園

児童用遊具ゾーンは広めにほしい

緑地ゾーンは見通しを考えたイチョウ・植栽が必要!

### 川岸公園

大人の癒しの公園にしたい

休憩ゾーンはゆったりとりたい

## 第2回ワークショップを終えて

第1回同様、子育て世代や高齢の方などにご参加いただき、この地域にふさわしい公園づくりについてたくさんの熱い意見をいただくことで、ゾーニングの方向性を見出すことができました。また、施設計画や植栽計画を見据えた意見も多くあり、次回の「必要な施設・樹木」に繋がるヒントをたくさん得ることができました!



## お知らせ

次回(第3回)ワークショップについて

**日時** 令和2年1月18日 土曜日 10:00 ~ 12:00

**場所** 吹田市水道部(泉浄水所)

※若干名の空きがありますので、参加希望の方は直接お問い合わせの上、ご確認ください。

## ニュースレターについて

ニュースレター(各回のワークショップの内容をまとめたもの)は吹田市HPにも掲載しますので、ぜひご覧ください!

(<https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-doboku/kouenmidori/minamisuita/kouen.html>)



《吹田市HP》

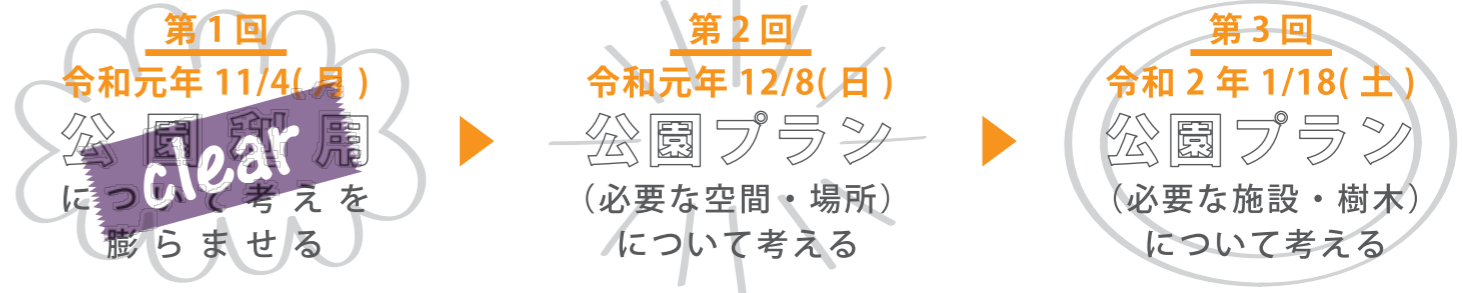
主催・問い合わせ 吹田市土木部公園みどり室 【平間・古川】 TEL:06-6834-5364 メール:dousei-kouen@city.suita.osaka.jp



## 南吹田駅周辺 6公園再整備ワークショップ

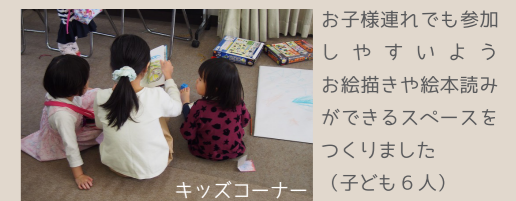
緑化重点地区内にある6つの公園は、地域みなさんに意見を出し合ってもらい、公園再整備の方向性を導き出すワークショップを開催しています。

第1回ワークショップ(11月4日)では、公園の魅力や不満、要望、提案などの160を超える意見が集まりました。今回のワークショップでは、公園計画の核となるゾーニング計画について話し合いを行いました。



## 第2回ワークショップについて

場所: 吹田市水道部(泉浄水所) 参加者: 26人 グループ数: 5班  
第1回ワークショップのおさらい・6公園のゾーニング案の説明をした後、各班に分かれてグループワークショップを行いました。



## グループワークショップの内容

上新田公園のゾーニング計画について考える

事務局が提案した3案と「考えるポイント」をもとに話し合い、ベストな案を導き出しました。



事務局が提示した案について、「考えるポイント」を中心に意見を出し合いました。

其他公園のゾーニング計画について考える



## 各班対象公園について



# 上新田公園ゾーニング案



## 各班の意見のまとめ 参加者の方に発表してもらいました!

### 西1班

[参加人数：6人]

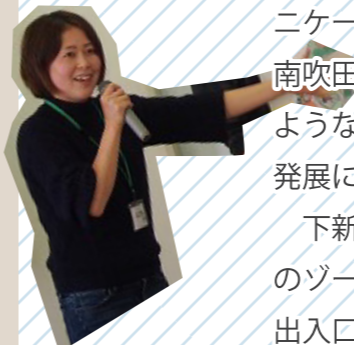
上新田公園はシンボリックな「丘」が良いという意見で一致し、議論をスタートしました。駅からの見え方、入りやすい広々とした舗装広場的あての配置などを考慮して、**A案**の方向性で決定しました。要望では、丘とせせらぎで公園の魅力アップ、グラウンドゴルフができる広場、四季を感じる公園植栽が挙げられました。また、トイレは管理が行き届くのであれば必要です。下新田公園は、学校行事に対応した自転車置き場スペースを考慮する、くるくる遊園は、桜を植えて花見を楽しみたいという意見がありました。



### 西3班

[参加人数：5人]

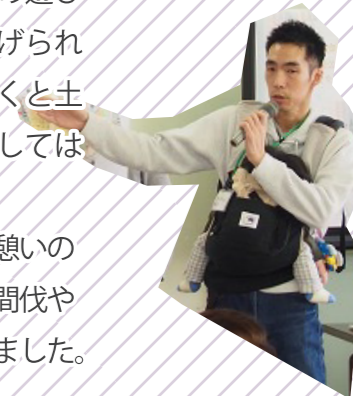
上新田公園は、的あての配置を考慮するとともに、丘に沿って水エリアをつくりたいという意見があり、**A案**をベースに話し合いを進めました。「水」を中心に、様々な世代が集い、コミュニケーションの場になって欲しいです。また、南吹田の将来を考え、南吹田駅に降りたくなるようなインパクトのある遊具があれば、地域の発展に繋がるのではないかと案も出ました。下新田公園と南吹田くるくる遊園・第2遊園のゾーニング案は全員が賛成でした。全公園の出入口を、バリアフリー対応にして欲しいです。



### 東4班

[参加人数：4人]

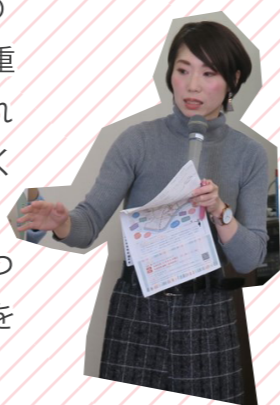
上新田公園の「丘」は、JR京都線等の展望を楽しめたり、土の広場を遮へいしないように配置したいという意見が挙げられ、**B案**をベースに話し合いを進めました。丘は、子どもの遊びの場になったらいいなといった意見も挙げられました。人気のある的あては、中央に置くと土の広場を遮ってしまうので、北側へ配置してはどうかといった提案もありました。川岸公園は休憩ゾーンを充実して大人の憩いの公園に、南清和園公園は見通しを考慮して間伐や植栽を行ってほしいという意見が挙げられました。



[参加人数：6人]

上新田公園は「丘」を残したいという意見で一致し、A案とB案を比較しながら話し合いをしました。「イメージを変えたいのでB案はどうか?」「的あては現在の配置が安全なのでA案が良いのでは」といった意見があり、的あての安全面を重視して、**A案**をベースとする意見が多く挙げられました。また、丘を低くして展望スペースを広くとり、明るい空間になれば良いと思います。下新田公園は、出入口の配置や落葉の対策について、くるくる遊園は、桜の木や草花等の植栽を充実させてほしいという意見が挙がりました。

### 西2班



### 東5班

[参加人数：5人]

上新田公園は**B案**をベースに話を進めた結果、駅側の空間を広く取り、丘を集約する**C案**に近い案で方向性がまとまりました。駅前広場との連続性を「水」で表現するため、ミストや噴水などの水景施設の導入や、舗装広場と土の広場を水の流れて区切る意見がでました。たくさんの方が使えるふわふわドームの設置や、安全な場所に的あてを配置する案が出ました。川岸公園はゆったりとした休憩広場、南清和園公園はイベントやボルダリングなどで使えるウォール(的当て)の提案がありました。

